

第72期生 修学旅行の様子～2日目～

〈長崎大学教育学部附属中学校との交流〉

今回、私たちは長崎大学教育学部附属中学校の生徒たちと交流会を行い、長崎（付中の3年生から）地域やその文化について教えていただき、私たちが札幌のことについて伝えました。

交流の中で特に感じたことは、お互いの当たり前に思っていたことが当たり前ではないということです。他にも、交流会では長崎の人々の平和に対する思いが、私たちのそれよりも強いということを実感し、私たちも他人事で終わらせてはいけないと思いました。

私たちはこれからも平和とは何か、平和な世の中をつくり、維持していくためにはどうしたらよいか、ということについてよく考え、その考えを身近な人に伝える、ということから始めたいと思います。



〈平和セレモニー〉

交流会の後は、原爆資料館に行きました。そこでは、原爆で壊された建造物や被爆者の声といった原爆の被害について詳しく知ることができました。

中には、目を背けたくなるような写真などもあり、原爆の恐ろしさと平和の大切さについて改めて学びました。

その後は、浦上地区を散策しました。浦上地区は、原爆が投下されたまさにその場所です。原爆の爆心地や浦上天主堂、道徳でも学んだ永井隆博士の如己堂も訪れました。



そして、平和祈念公園に行き、平和セレモニーを行いました。全員で黙祷と平和宣言を行い、大地讃頌の合唱、献花、みんなで作った千羽鶴の奉納を行いました。私たちの合唱の後、それを見ていた周りの観光客の方々からも大きな拍手をいただきました。戦没者、被爆者の方々に、私たちの祈りや思いを伝えることができたと感じます。

〈夕食～夜景観賞〉

夕食では、その後に予定されていた稲佐山での夜景鑑賞のため、緊張で食事が喉を通らないという人もいました！時間が少し早かったので、「夜景」とはなりませんでしたが、暮れなずむ街並みの綺麗な景色が見られました。これまでの2日間、素晴らしい思い出ができました。早くも残り2日となりました。楽しく、実りある時間になりたいと思っています。

